

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2155
研究開発課題名	ロバスト深層学習による作物・雑草判別技術を活用した株間除草ロボットの開発
研究代表者	北海道大学 大学院工学研究院 准教授 江丸 貴紀

**総合評価**

株間の雑草を取り除くロボットの開発という、重要な社会課題を解決するための研究開発に取り組んだ。ただし、実用化に向けては課題も残されており、顧客候補の評価を的確に受けてビジネスモデルの検討を一層進めることが必要であり、それにより説得力のある技術開発ができるものと期待する。

また、本テーマは要素技術の開発段階であり、今後も課題が現れてくると想定できる。除草ロボットにおいてはシステムインテグレーションが非常に重要であり、本テーマにおいてもシステムインテグレーションの更なる検討を行う必要がある。

以上